

## 環境中期計画2002 - 2004年度(ブーア21)について

環境中期計画スローガン  
環境で選ばれるコスモ石油

- 真の環境先進企業を目指す -  
企業市民として社会的責任を果たす 環境保全と経済性の両立

→ 2002～2004年度に9つのテーマを設定し、取り組みを進めました。  
また、2003年度からは「ゼロエミッション」「土壤環境対応」「グリーン購入」を重点テーマとして取り組みました。

テーマ	取り組み	2002 - 2004年度の主な取り組み	関連頁
01 温暖化対応 CO <sub>2</sub> 削減と 新エネルギーへの取り組み	省エネルギー 新エネルギー	製油所のエネルギー消費原単位(1990年度比)2010年度目標 10% 2004年度 10.9% 2004年度12月より山形県酒田市で風力発電を開始	12, 13
02 汚染物質の排出削減 法規制の遵守と 産業廃棄物の削減	産業廃棄物 大気・水質	2004年度産業廃棄物の最終処分率(埋立処分量÷発生量)目標1.5%以下 実績1.2% 製油所の大気汚染・水質汚濁物質の排出を法規制値以下に維持することを継続	-
03 土壤環境対応 実態把握・対応と未然防止の推進	SS 他事業所	環境管理ポイン( SS管理ツール)等の、啓発活動の推進、自主的な地下タンク検査実施 11カ所で土壤調査実施、全事業所で設備の維持管理と日常点検の徹底	14
04 省資源(オフィスクリーン) リデュース・リユース・リサイクルの 推進による一般廃棄物の削減等	紙 日用品	コピー用紙の使用量削減の推進、電算帳票160万枚/年削減実施 ゴミの分別回収の推進	14
05 製品の環境負荷低減 環境負荷の低い石油製品の供給	軽油対応 ガソリン対応	2005年1月より硫黄分10ppm以下のガソリン、軽油の製油所出荷を開始	12
06 グリーン購入 グリーン購入の拡大	資機材・工事・事務用品 グリーンサプライヤー からの購入	グリーン購入に関する社規を制定し、グリーン購入を実施	-
07 研究開発 環境技術開発と新エネルギー分野 での技術開発	石油製品 環境技術 新エネルギー	低硫黄ガソリン・軽油製造用の高性能触媒の開発を実施 排水処理装置余剰汚泥減容化システムの開発 天然ガスからの液体燃料製造用触媒の開発を実施	-
08 環境貢献プロジェクト 温暖化防止を中心とするプロジェクトの 継続的な展開	環境保全技術協力 「エコ」カードプロジェクト 社会貢献	環境関連技術の海外移転実施(ゼロフレア、省エネルギー等) 地球温暖化防止をテーマに 発展途上国支援、環境教育支援プロジェクト継続実施 「コスモアースコンジャスアクト」の実施、インターネットを使った環境教育サイト「エコネット」の運営	5,6,7 9,10
09 環境経営推進施策 環境マネジメントの継続的な推進と さまざまなステークホルダーへのコミュニケーション	環境マネジメント コミュニケーション	社員の階層別研修で環境教育を実施 環境関連出版物、広告、WEBによる環境情報の発信継続	裏表紙

→ 第2次連結中期環境計画(2005-2007) CSR経営推進のもと、環境リスクへの取り組みと企業価値向上への取り組みを柱にグループで推進

環境リスク案件 への取り組み	● 温暖化防止策	▶ 省エネの推進、 京都メカニズムの活用	企業価値向上 への取り組み	● 環境保全施策	▶ 社会環境貢献の継続、 その他環境負荷低減の推進
	● 有害物質/廃棄物対応	▶ 規制強化への対応、 産業廃棄物ゼロエミッションの推進		● 環境コミュニケーション	▶ 環境をキーワードとした社内外への 情報発信の継続
	● 土壤環境対応	▶ 土壌への油漏洩の未然防止と 発見時の適切な対応			

# とにかく安全、それが原点

コスモ石油にとって、安全管理の徹底は企業活動の原点です。安全に関する行動指針を定めて、従業員のみならず、地域住民の安全の確保を図るとともに、地域社会との共生に努めています。

### 安全に関する行動指針

「安全、安定操業の維持発展を最重要課題の一つと位置付け、可燃物、高圧ガスを取り扱う事業所においては、従業員のみならず、地域住民の安全の確保を図るとともに、地域社会との共生に努める。」(コスモ石油グループ企業倫理規程より)

### SAFETY POINT

## 01 未然防止と発生時の早期対応両面から安全管理を徹底しています

安全管理は、災害を未然に防ぐ「未然防止」と、万一災害が発生したときに被害を最小限に食い止める「発生時の対応」の二つの側面から取り組んでいく必要があります。当社では、製油所、油槽所、物流、SS(サービスステーション)の各段階で、この二つの側面について、ハード、ソフト両面の対策を実施して、安全管理の徹底に努めています。

### 未然防止・早期発見

ハード対策	ソフト対策
<b>製油所・油槽所</b> 設備設計時の安全性配慮 安全機器の設置 異常監視機器の設置	<b>製油所・油槽所</b> 運転管理・工事管理・設備管理の徹底 危険予知運動(KYT、ヒヤリ・ハット) 事故事例の水平展開 教育シミュレーターを活用した運転技術教育 小集団活動など
<b>SS</b> 設備設計時の安全性配慮 静電防除シートの設置 オーバーフロー防止設備設置	<b>SS</b> 顧客への静電防止啓発ポスター標示 誘導レーンの明示 禁煙標示 セルフSSでの従業員による監視

### 発生時の対応

ハード対策	ソフト対策
<b>製油所・油槽所</b> 防火消火設備、資機材の設置 保安用保護具の設置 大型化学消防車などの設置 棧橋にオイルフェンス設置	<b>製油所・油槽所</b> 災害対策組織の整備、確立 防火訓練 相互援助体制の整備 マニュアルの整備
<b>SS</b> 消火器、消火設備の設置 防火扉設置	<b>SS</b> 消火訓練の実施 防災教育の実施 SS危機・安全管理マニュアルの整備



総合防災訓練の様子



SS施設安全点検記録帳

### SAFETY POINT

## 02 製油所などの安全操業の仕組み

所長をトップとする安全衛生委員会を組織して、さまざまな安全活動の計画策定や実績報告を行い、安全の確保に努めています。

### SAFETY POINT

## 03 製油所におけるセーフティマネジメントシステム(SMS)の実践

2004年度は、「PDCA型の製油所安全管理システム(SMS)」を本格運用し、装置の安全性評価を実施してリスクのさらなる低減に取り組むなど自主保安の一層の強化に努めています。

### SAFETY POINT

## 04 製油所の安全成績

2004年の製油所の操業事故は1件、従業員の労働災害数は休業災害1件、不休業災害2件でした。千葉製油所の無災害記録は延べ1,642万時間(2004年12月末現在)で、石油業界No.1を維持しています。